

雪の降り方の傾向をお伝えします。

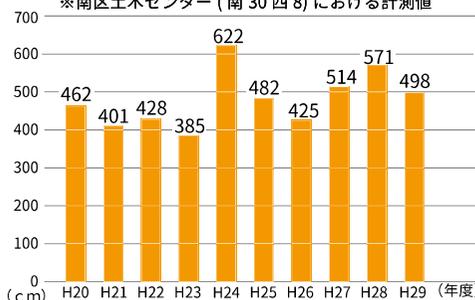
札幌市内でも雪の降り方に差があります。冬型の気圧配置が強く、西寄りの風が吹く場合は、北区や東区側に多くの雪が降ります。また、北寄りの風が吹く場合は、南区や中央区側に多くの雪が降ります。

これまで、冬には西寄りの風が吹くことが多かったのですが、近年は少し状況が変わってきており、北寄りの風の影響で南区側に雪が多く降ることが増えてきました。

南区の中でも雪の降り方に差があり、定山溪地区は特に多くの雪が降ります。

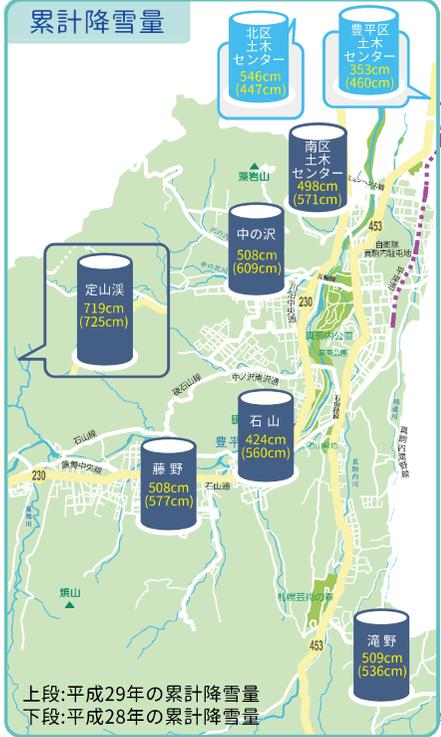
【過去10年間の南区の降雪量の比較】

※南区土木センター（南30西8）における計測値



平成27年度と平成28年度は、南区が10区中、2番目に雪が多く降りました！

累計降雪量



公園の雪入れ利用について

遊具や樹木の破損、また事故を誘発する恐れがあるため、公園に雪を入れることは**原則禁止**ですが、町内会と札幌市とで覚書を取り交わし、責任とルールを明確にすることで、公園を地域の雪置き場として活用することが出来ます。（お問合わせ→南区土木センター）

<公園利用のルール>



重機での搬入はご遠慮ください。ママさんダンプなど、家庭用の除雪用具をお使いください。



安全に利用するためにパトロールをお願いします。また、雪を搬入するスロープ(斜面)は、道路方向に向けず、緩やかにしてください。



損傷や事故を防ぐため、遊具や樹木の周りに雪を置かないでください。

発行	札幌市南区土木部維持管理課		
お問合せ	区の除雪事業について	▶ 札幌市南区土木部維持管理課（南区土木センター） 電話：011-581-3811	
	区の除雪作業について	▶ 北地区除雪センター 電話：011-583-6851 ▶ 南地区除雪センター 電話：011-573-9222	※お住まいの区域の除雪センターについては、冬のくらしガイドや、札幌市南区ホームページにてご確認ください。
次回のリーフレット発行予定	▶ 第2号 1/17 (木) ▶ 第3号 2/14 (木)	このリーフレットのバックナンバーを札幌市南区ホームページに掲載する予定です。	札幌市南区 除雪関連 🔍 検索



冬みち便り

保存版

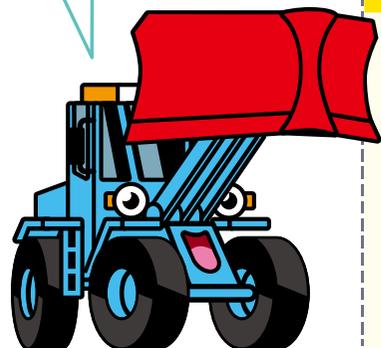
Vol.1



このリーフレットは、南区のみなさまに全3回にわたり、市の除排雪の情報や南区の取組をお伝えしていきます。

札幌市南区土木部
平成30年12月20日発行

こんにちは！
今年も僕たちが除雪の作業や、札幌市の取組について紹介していくよ！
次のページで、新雪除雪を紹介します。



いまココ!

12月 1月 2月 3月

ぼくはショベラ!
新雪除雪やザクザク路面の削り取りなどオールマイティに活躍するタイヤショベルです！

ぼくはロータリ!
回転式の赤い羽根で雪をかきこんで上のシュートで飛ばすロータリー除雪車です！

ぼくはグレードン!
おなかについているブレードで、道路上の雪をかき分けたり、凹凸の路面を削って平らにする除雪グレーダーです！

ぼくはトランポ!
積み込んだ雪を雪たい積場まで運ぶダンプトラックです！

拡幅除雪

運搬排雪

雪道での歩き方に気を付けましょう。

札幌市内では、ツルツル路面など、雪道での転倒が原因で、毎年1,000人以上が救急搬送されています。

転びにくい歩き方を身に付け、雪道で転倒しないよう気を付けましょう。

<雪道で転びにくい歩き方>

①小さな歩幅で歩く



②靴の裏全体を付けて歩く



③急がず余裕を持って歩く



平成29年度の救急搬送者数

11月	149人
12月	400人
1月	251人
2月	279人
3月	242人
計	1,321人

※札幌市消防局
平成29年度『雪道の自己転倒』による救急搬送概要 参照



砂箱には砂の入った袋やペットボトルが入っています。ツルツル路面を見かけたら、砂箱から取り出して、ぜひ砂を撒いてください。



新雪除雪とは

車道や歩道に降り積もった雪(新雪)を取り除き、道路脇に寄せる作業のことです。通常、交通量の少ない深夜から通勤・通学時間までの間に作業をします。

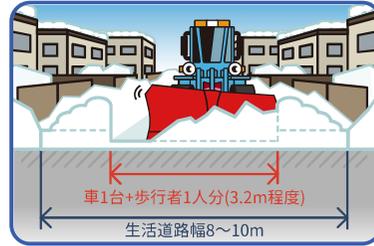
新雪除雪の出動基準

- 目安として10cm以上の降雪があり、人や車の通行が困難と予想される時。
- 交通量が多く、圧雪による交通障害の発生が予想される時。
- 風雪や地吹雪などによる吹き溜まりの発生が予想される時。

新雪除雪は主に3種類！

車道除雪(生活道路)

道路幅の狭い生活道路では、タイヤショベルで路面の雪をかき分け、道路脇に寄せる除雪を行います。



対象車道

道路幅員が8m以上の道道、市道及び8m未満の市道のうち、機械除雪が可能な車道。

車道除雪(幹線道路)

道路幅の広い幹線道路では、除雪グレーダーや除雪トラックで路面の雪を車道脇に寄せる除雪を行います。

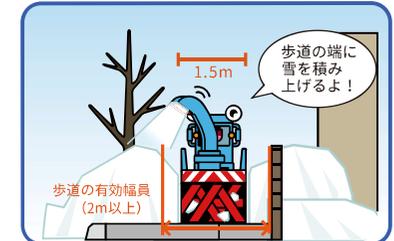


歩道除雪

歩道に降り積もった雪を、小型ロータリー除雪車で、車道と歩道の間に積み上げる除雪を行います。

対象歩道

歩道の有効幅員(電柱などの支障物を除いた幅)が2m以上あり、さらに除雪した雪を積んでおくだけの余裕幅がある、歩行者が多い歩道。



新雪時の除雪作業スケジュール

日中に除雪作業を行うと、交通に支障がでてしまい、事故の恐れもあるため、通常、交通量が少ない深夜の時間帯に作業します。

1 気象予報確認・パトロール

独自の予測システムで判断

除雪の判断を行う”拠り所”として気象庁の予報に加え、市内約50ヶ所に配置した独自の観測点データを活用した、降雪予測システムを運用しています。南区内の観測点は、南区土木センター、定山溪、中の沢など、計6ヶ所に配置されています。

~23:00

2 作業計画・出動準備

23:00~深夜 0:00

3 除雪作業

深夜 0:00~朝 6:00



主に除雪ができる時間帯は
深夜の6時間！

除雪作業は

「時間とのたたかい」

札幌市の全域で降雪があった場合に、市が除雪を行う道路の延長は、**約5,400km!**(札幌と沖縄県石垣島を往復できる距離)この距離を深夜の6時間で除雪しなければなりません。

間口除雪のお願い！

新雪除雪の際、市では「かき分け除雪」を行っています。玄関先などの間口に残った雪の処理(間口除雪)にご協力ください。



市民の皆さんは間口除雪へのご協力をお願いします。

雪が降っても除雪作業を見合わせる時があります。

- 朝方に雪が降ったとき。
作業が朝の交通ラッシュと重なってしまい、混乱が予想される場合は、除雪の出動を見合わせる場合があります。
- 降った雪がすっかり踏み固まっているとき。
- 地吹雪による視界不良などで作業場の安全が確保できないとき。
- 雪は降ったが、気温が高めですぐに解けると思われるとき。